

○防災インフラカード抜粋


○気象庁ホームページより


## 知って、備えて、いのちを守る行動をしよう！

**① 身のまわりの危険を知り、避難先と道のりを考えましょう**

- 水害・土砂災害に関する危険性を市町村から配布されるハザードマップで確認しましょう。
- 新しい調査結果や調査条件にない危険は載っていないため、ハザードマップの情報を参考にして、身のまわりの危険に目を向けてください。
- ハザードマップがお手元がない場合は、ハザードマップポータルサイト（右のQR）をご覧ください。

▼ハザードマップポータルサイト






▲ハザードマップの例

**② とるべき避難行動を確認しましょう**


- 逃げ遅れをなくすには、いつ、どのような避難行動をとるのかあらかじめ理解しておくことが大切です。
- 危険な場所から、**警戒レベル3**で**高齢者等は避難**、それ以外の人も避難の準備や、危険を感じたら自主的な避難をし、**警戒レベル4**では**全員避難**しましょう。
- 市町村から避難情報が出ていない場合でも、警戒レベルに相当する防災気象情報も参考にしながら、適切な避難行動をとります。

▼避難情報に関するガイドライン、政府広報オンライン、気象庁HP等の掲載も参考に作成




**③ 「正常化の偏見」をこえて「率先避難者」になりましょう**

- 正常化の偏見（正常性バイアス）**とは、この前も大丈夫だったから今回も大丈夫だろう、堤防があるから大丈夫だろう、など「自分は大丈夫」と思い込もうとする心の作用です。
- 10回避難して大丈夫でも、11回目に災害が発生するかもしれません。
- 今回も大丈夫と思いきず、**率先して避難をしてください**。近所の方が避難すると、避難しなければという意識になるのではないのでしょうか。
- 「自らの命は自らが守る」ことが、周りの命を守ることに繋がります。



政府広報  
オンライン特集  
「家族を守ろう」



## 新たな防災気象情報について(令和8年～)

### 令和8年5月下旬より 気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます